

藤沢市少年の森

未来ストーリーブック





いま すこ みらい はる は ひ
今より少し未来の、とある春の晴れた日。
まちにツバメが迷いこみました。

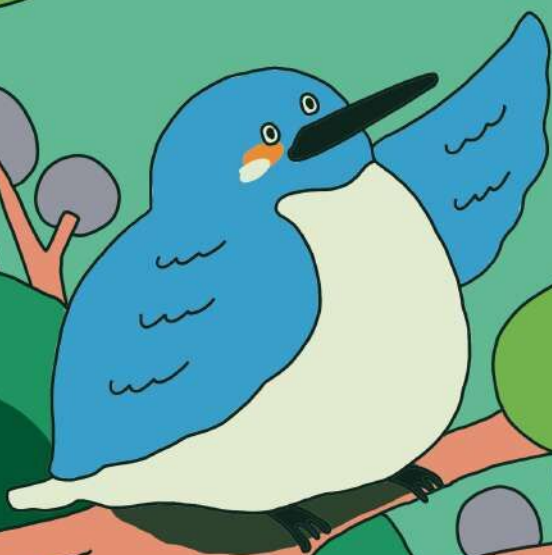
「ここはどこかしら？」



ツバメがしばらくまちをさまよっていると、
やさしいカワセミが話しかけてくれました。



「おや？ 迷子かな？
ぼくはこのまちを知り尽くしたカワセミ。
ここは藤沢市というところだよ、
このまちのすばらしい場所を案内しよう」



カワセミとツバメは藤沢市を
探検してみることにしました。

うつく　うみ　み
美しい海をこえると、にぎやかなまちが見えてきました。
でんしゃ　くるま　ひと
電車や車からたくさんのおりてきています。



きた　む
さらに北に向かうと、
がっこう　はたけ　た　み
学校、畑や田んぼが見えてきました。
ゆた　しぜん　なか
豊かな自然の中には、
のうさぎょう　ひと
農作業をする人やものづくりをする人、
しょくじ　たの　ひと　あつ
おいしいレストランで食事を楽しむ人が集まっています。



「^{いえ あんない}ぼくの家^に案内^しよう。
^{まいにちたの}毎日^{ばしよ}楽しい、と^とって^おきの^{ばしよ}場所。
^{ふじさわ}藤^ふ沢^ざの^すて^きな^ところ^がい^っぱ^いつ^まった^{もり}森^{なん}だ」

カ^たワ^のセ^{こえ}ミ^きとツ^{もり}バ^{ほう}メ^むは^{たの}楽^{こえ}し^きそ^きう^きな^き声^きが^き聞^きこ^きえ^きる^き森^きの^き方^きに^き向^きか^きい^きま^きし^きた^き。



「ここがぼくの^す住んでいる^{しょうねん}少年の^{もり}森だよ」
「いいなあ、^{ゆた}みどりが^{みず}豊かで、水もきれいだね！」
ツバメがいうと、カワセミは^{とくい}得意げです。



「^{ひろ}とっても^{かんり}広いから^{たいへん}管理は大変で、
^こ子どもたちに^{だいにんき}大人気の^{ふる}アスレチックも^{つか}古くなって^{つか}使えないものがあつたんだ。
けれど、この森を愛する人たちが集まって、楽しく遊び学びながら守る方法を生み出しているんだよ！
^{ちから}みんなの^{げんき}力で^{もり}元気な森に^{せいちょう}成長しているから、ぼくにとっても^{いごこち}どどん居心地のよい^{かんきょう}環境 になつてるんだ」

「わたし、しばらくここで^く暮らしてみたい！」
カワセミとツバメは一緒に^{いっしょ}少年の^{しょうねん}森で^{もり}暮らすことにしました。

つぎ ひ こ たの こえ め さ
次の日、ツバメは子どもたちの楽しそうな声で目を覚ましました。

こ まえ とど き のぼ
「あの子たち、前は届かなかった木に登れるようになったんだ」

きょう もり たい き
「今日も森をきれいにしてくれるおそうじ隊が来てくれたよ」

もり お できごと たの はな
カワセミは、森で起こる出来事を楽しそうに話してくれます。

もり まな い もり そと かつどう ひと
「この森で学んだことを活かして、森の外で活動してる人もいるよ。」

もり く とも ちえ ふ
この森に来ると友だちも知恵も増えるんだ」

じぶん つく た もの
自分が作った食べ物や
こうげいひん う く ひと
工芸品を売りに来る人、

まいにち はな はたけ せわ ひと
毎日お花や畑の世話をする人、

こ かあ とう
子どもとそのお母さん、お父さん……

ツバメにも、
ま とも
あっという間にたくさんの友だちができました。

つゆ きせつ
梅雨の季節になりました。

さいきん たの
最近のカワセミとツバメの楽しみは、

たてもの あつ ひと なに そと みまも
建物のなかに集まる人たちが何をしているのか、外から見守ることです。



どろあそ こ
「泥遊びした子どもたち、

あ きも
シャワーを浴びて気持ちよさそうだね」

へや なか りょうり こうさく たの
「お部屋の中でも料理や工作を楽しんでみたい」

あした は うみ で
「明日は晴れるから、海に出かけるみたいだよ」

なつ
夏になると、
あさ すず じかん ひと き
朝の涼しい時間から人がたくさん来ています。

もり なか つ まるた み
ツバメは森の中に積んである丸太を見つけました。

き き
「あれ、木が切られちゃってるよ！」

もり げんき き
「森を元気にするために切ることもあるんだよ。」

き き こうさく び つか
切った木も、工作やたき火に使ってるんだ」

だいぐ き いしゃ
大工さんや木のお医者さん、
せんせい き
キャンプの先生や木のぼりの名人が、
こ もり あそ かた おし
子どもたちに森の遊び方を教えています。

こ もり あそ こ もり
「この森で遊んでいる子どもたちは、森のはかせになっていくんだ」

こ もり まも かた おし
「子どもたちが、またその子どもたちに森の守り方を教えていくんだね。」

ねんさき もり げんき
100年先もこの森が元気だといいな」

しゅうかく あき
収穫の秋がおとずれ、
まいにちもり
毎日森はいいにおい。

「みんなが^{せわ}お世話していた^{はたけ}畑の^{やさい}野菜、とうとう^た食べられる日^ひが来たね」

「今日は^{きょう}森の^{もり}近くの^{ちか}シェフやお肉屋さん、^{にくや}漁師さん^{りょうし}も^{あつ}集まって、
^も持ち^よ寄りパーティーだって」

この日^ひのために、
^{おお}大きな^{つく}テーブルを作ったり、
^お落ち^{あつ}葉をはりきって^{あつ}集めていたようです。



つか た もの しつもんたいかい
使った^{つか}食べ物や^たレシピの^{もの}質問大会がはじまり、
こんど うみ ぼくじょう やくそく
今度はみんなで海や牧場でもパーティーをする約束をしました。

ほしぞら ひ
星空のきれいな日、
しず よる もり おんがく なが
いつもは静かな夜の森に、すてきな音楽が流れています。



まいにち かいしゃ はたら ひと
「毎日いそがしく会社で働く人たちも、
にんき みせ てんちょう
人気のお店の店長さんたちも、
きょう もり
今日はおやすみして森でリラックスしているんだね」

つぎ はな あ
「あれ、でももう次のイベントのことを話し合ってるみたいだよ」

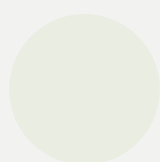
もり あい ひと さくせん かいぎ
森を愛する人たちの作戦会議は、
ひ ま き つづ
キャンプファイヤーの火がいつの間にか消えてしまうまで続いていました。

ふゆ ちか
とうとう冬が近づいてきて、
みなみ くに む
ツバメは南の国に向かうことにしました。

もり
「この森にだけで、
ふじさわ しぜん ひと みりよく し
藤沢の自然や人の魅力をたくさん知ることができて、
ものし
物知りになっちゃった！」



ふゆ いっしょ す ざんねん
「冬と一緒に過ごせないのは残念だな、
これからクリスマスやもちつき大会もあるし、
あつあつ りょうり いっしょ つく た さいこう
熱々の料理と一緒に作って食べるのが最高なんだ」
はる ともだち つ
「春になったら友達を連れてきてもいい？」
もり なかま ふ
「もちろん。この森の仲間が増えるのはだいかんげい！」

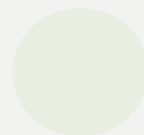


しょうねん

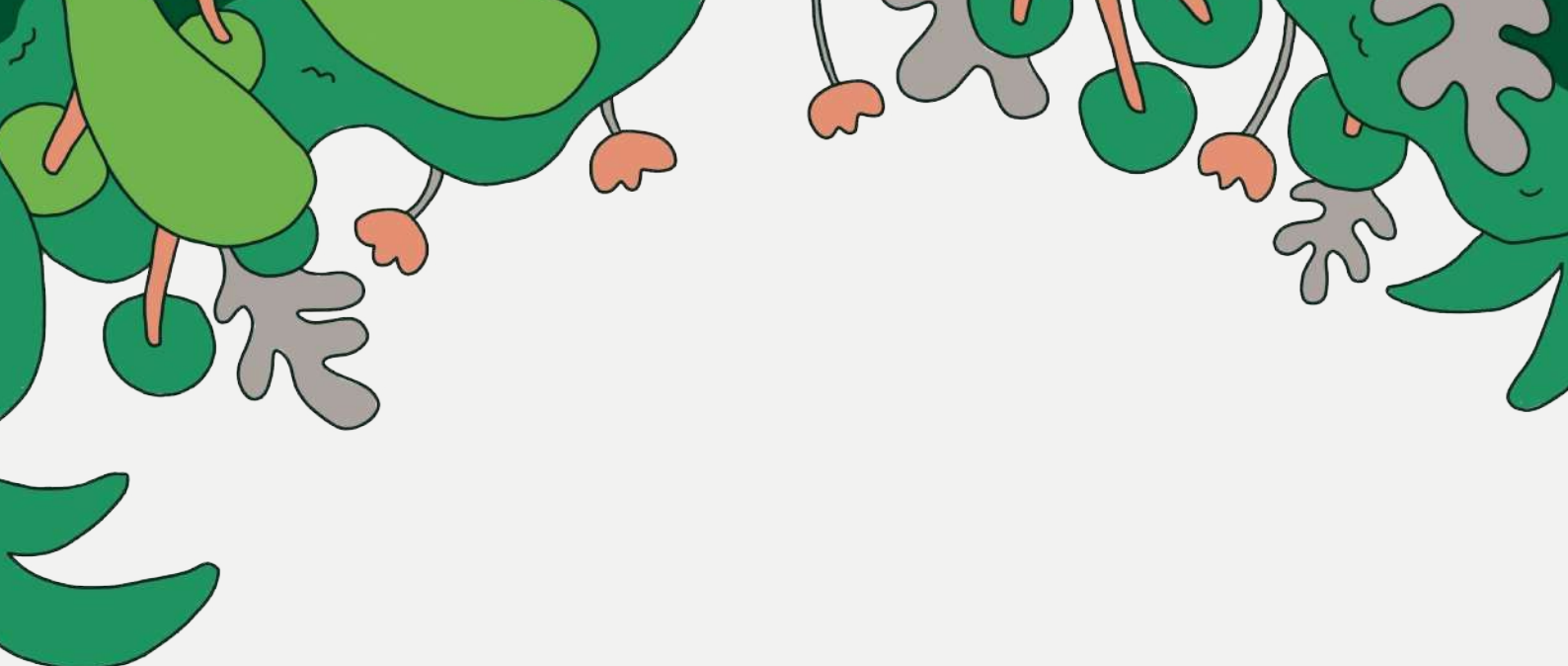
もり

こ

あれからまた月日^{つきひ た}が経ち、
少年^{しょうねん}の森^{もり}も子どもたちも大きく^{おお}成長^{せいちょう}しています。





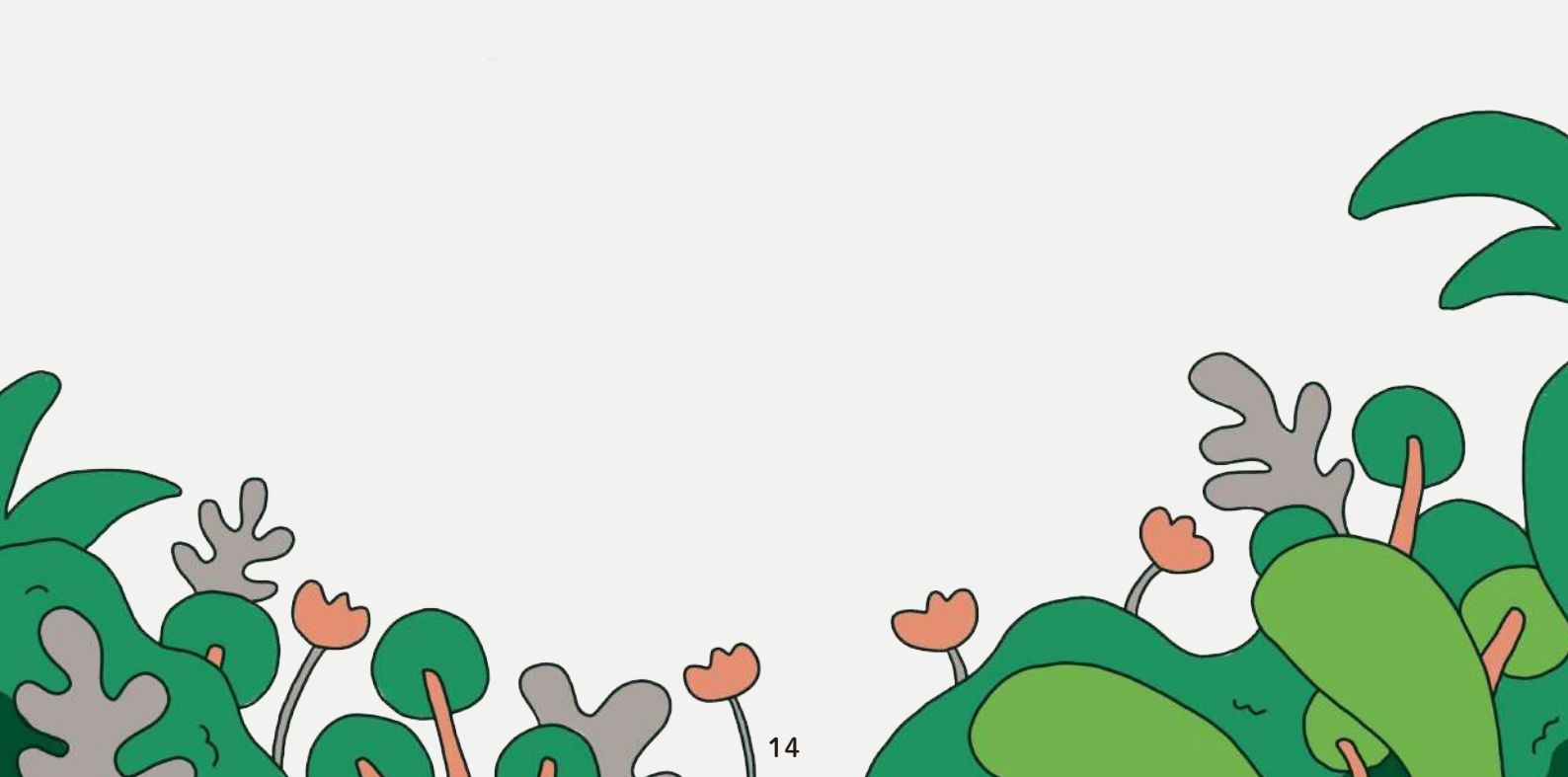


まいとし つく おお
毎年みんなで作るツリーハウスはどんどん大きくなって、
いま せかいじゅう ひと あそ
今では世界中からたくさんの人が遊びにきます。

う りょうり
ここで生まれたおいしい料理は、
ぼん ほんや なら
レシピ本になって本屋さんに並んでいます。

しょうねん もり き つか こうげいひん
少年の森の木を使った工芸品は、
ふじさわし にんき
藤沢市の人気のおみやげになりました。

つぎ もり
さあ、次はこの森でどんなことをしてみましょうか。





しょうねん もり たの す かた かんが
少年の森の楽しい過ごし方を考えて、
ここに書いてみよう！



少年の森 未来日記

タイトル

きせつ

てんき

ようび

なにを？

だれと？

どこで？

かん
どう感じた？



(ツリーハウスづくり！
たき火)

(ともだち かぞく
友達、家族
のうか せんせい
農家さん、先生)

(じゃぶじゃぶ池
ひみつきち き おお
秘密基地、木の多いところ)

(すっきり、おいしい
におい
いい匂い)

6:00

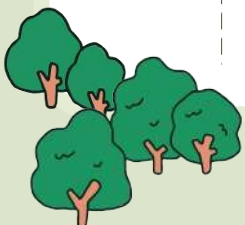
9:00

12:00

15:00

18:00

21:00



か お
書き終わったら、
かぞく ともだち み
家族や友達と見せあって、
いっしょ たの かんが
一緒に楽しむアイデアを考えよう！

えほん この絵本について

小さい子どもからお年寄りまで、たくさんの方々に、
再整備で目指す未来の少年の森を知っていただくために、
「関わり方や過ごし方」のイメージを絵本にしたものです。

※イラストで表現されたものは、決定された再整備事項ではありません。

① 未来の少年の森を考えるきっかけ

藤沢市少年の森は、
昭和55年に開園されてから現在まで多くの市民に愛されてきた青少年野外活動施設です。

施設や設備の老朽化をきっかけに、
これからも自然環境を守り、愛され利用され続ける場所にするため、
令和5年から公民連携で、再整備の検討がはじまりました。

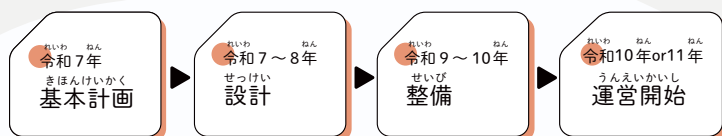
② 絵本作成の背景

未来の少年の森は、自然や人との出会いや体験、発見を通して、
共に学び・成長していく施設を目指しています。

そのため再整備の検討段階では、アンケート調査やヒアリング、ワークショップなど、
地域住民・地元の小中学生・利用者・市民の声を聞き、一緒に未来を考える機会を作りました。

この絵本のなかに出てくる過ごし方は、そのときのアイデアが随所に盛り込まれています。
検討段階から能動的な市民の関わりがあることで、持続可能な施設になると考えています。

③ 今後の再整備スケジュール



令和10年～11年に新しい少年の森の運営が開始予定です。

今後の情報は藤沢市のHPや広報で随時更新していきます。

再整備で新しくきれいな施設にすることがゴールではありません。

今後も皆さんが参加できる機会を企画していきます。

森も人も成長し続ける未来を一緒に作っていきましょう。

お問い合わせ先

藤沢市子ども青少年部 青少年課 TEL: 0466-50-8251

はっこう ふじさわし こ せいしょうねんぶせいしょうねんか
発行：藤沢市子ども青少年部青少年課

きかく せいさく こうきょう ふどうさん
企画・製作：(株) OpenA (公共 R 不動産)

(株) ひらく

おがわ りく
イラスト：小川 理玖

Special Thanks

しみん みな
市民ワークショップに参加してくれた皆さん
(ニックネーム 五十音順、敬称略)

あかまつ、あかり、あまの、いそがい、いちか*、いちかわ、
いわもと、えしま 江の島マック、えみ*、エリー、おおた、だいかん お代官さま、おまめ、
オンチテール、かし、かとうさん、カネコ、カンキョー、きよみさん、ぎんが、
くま、くまちゃん、けん、こうへい、コバ、さやちん、しいのさん、しげ、
じゅんじゅん、じょーじ、セバスチャン、たかゆき、トット、にも、ねぎ、のざやん、
のんちゃん、はな、ハルト*、ぼうし*、まさる、まめ、まる、みーちゃん*、みっちゃん、
ミナミさん、もえもえ、やっち、ゆい、ユウタ、りえ、SEN

さんか
* ファミリー参加